水を語る会

会 報 第６７号
令和８年５月 16 日
水 を 語 る 会
会長　眞柄　泰基

現在の会員数　一般会員 131 名　団体会員 3 団体　（令和 7 年 3 月現在）

講演会の報告（第 52 回会員集会）

日時：令和 8 年 2 月 14 日(土)13 時 30 分～15 時 30 分
場所：日本水道会館会議室及び WEB（Zoom）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演１：水道施設で使用される制御弁と緊急遮断弁について

講師：松永 伸宏様（前澤工業株式会社）



写真-1　講演中の松永様

水道施設で使用されている制御弁､緊急遮断弁について、開発経緯、特徴、動向、維持管理について講演されました。維持管理上の課題として、定期点検の重要性、大雨浸水による故障リスク、緊急遮断弁過流感知式の遮断設定値の使用流量変化等に応じた定期的見直しの必要性についてのお話がありました｡配水機能を支えるバルブの重要性とともに､その仕組み等について知識を深める機会となりました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

講演２：①オート弁(減圧弁)について、②水道における新技術事例 Aqua-LIST 掲載「工場再生」を用いたバルブ運用システム

講師：川俣 光正様（株式会社森田鉄工所）、①寒河江貴志様、②森山 陽介様



写真-2　講演中の寒河江様、森山様

オート弁（水圧で開閉作動する弁）について、成り立ち、種類別使用例、減圧弁について作動原理、設置条件等についての説明がありました。また、長寿命化を図るための「工場再生」を用いたバルブ運用システムについてその手法と効果の説明がありました。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

幹事のひとりごと「横手市の取り組み」

水を語る会：横手市上下水道部　　杉山達範 幹事



写真-3　幹事のひとりごとの様子

話題提供として、横手市の施設統廃合と広域化、管路更新・耐震化について、未普及解消事業と小規模分散型水道の整備､管路ＤＢの活用について紹介がありました。さらに、将来を見据えて、都市構造の行政コストへの影響と都市構造移行までの､特に管路更新が課題だという課題提起がありました。

定例幹事会の報告

日時：令和 8 年 2 月 14 日(土)　12 時～13 時 00 分
場所：日本水道会館
議題：次回以降の講演者テーマと演者について

編集後記

令和 8 年の年明けは、少雨寒波の影響により各地で水道断水のニュースが流れました。バルブのような配水を支える技術の重要性と、生活に必要な水インフラを未来にどのような形で引継ぐべきかについて改めて議論する機会になりました。（幹事　馬場未央）

◆新規入会をご希望の方は、事務局までご一報下さい。
詳しくはホームページをご覧ください。
→ http://mizuwokatarukai.org /